



広報編集委員が頑張っている人物や  
グループを紹介するページです

## はま美人を育てる会

県内有数のらっきょう産地吉川。そのらっきょう用に、さらに価値を付け地場産業を活性化しようと、地域住民・行政が一体となって作り上げた、らっきょうのブランド品。名付けて「はま美人」。今日はイベント、空の日の出店準備に忙しい「はま美人を育てる会」の作業場に伺った。

### 町のリーダーたちの熱気

作業場(旧天然色市場)の中にはいると十数人の育てる会のメンバーが明日の出店準備の真っ最中。それぞれ仕事を分担して手際よく作業を進めている。とても平均年齢六十何歳とは思えない活気満ちあふれる仕事



## らっきょうで町おこし



一瞬目を疑った。らっきょう入りのシフォンケーキが次々と焼かれていく。珍しさもあって、この食感が意外と人気があるそう。特製のらっきょうのかき揚げはヘルシー志向も手伝って飛ぶように売れる製品。「空の日」の出店でも、すぐに完売となったそうだ。

### らっきょうケーキにも

場である。東川矩子会長のケーキの型枠をたたく音、三三七拍子のリズムにどつと笑いが起こった。まことに楽しそうな作業場である。メンバーは民生児童委員、女性会の役員、食生活改善委員等それぞれ町のリーダー格。さらに管理栄養士の有資格者がいる、底力のある強力なメンバーだ。皆が知恵を出し合い、新しいアイデアが次から次へと生まれ、らっきょうの特産物が作り出されてきた。

### 色んならっきょう

三年前、二十数種類のらっきょう漬けの試作品を作

り、吉川小の児童から高齢者まで幅広い世代に試食してもらった。そのアンケート結果を反映させながら一年かけて作りあげた自慢の五つの味。

黒豆ジューズ漬けは、少々値が張るが丹波の黒豆にこだわった。作るたびに微妙に色が変わり、ひと苦労とのこと。白さが売りのらっきょうに、さまざま天然の色が付けられる。味のベイスとなる酢も、甘口の酒から作った広島島の酢にこだわって漬け込んである。それぞれのでらっきょう漬けにも原料、製法に工夫があるようだ。これ以上は企業秘密とのこと。

### やらぬってえ



土佐の料理伝承人にも認定された同会。おいしいものは作れても企業感覚はいまひとつ。宣伝方法や県内外への販路拡大など、さらに進めんとはいかんねえ。市の地域支援係の村井洋子さんの談。「らっきょうと言えば吉川」その名が県内外に知れ渡るように頑張って!

## ご冥福をお祈りします

香南市最高齢の安岡忠枝さんが9月30日、106歳の天寿を全うされました。

広報こうなん10月号の取材でお会いした時は、テレビの前で「みんなの話題についていくためにテレビを見るのよ」と明るく話されていた姿が印象的でした。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 編集後記

市の花は香り高く白い花が可憐なみかんです。今が旬の実には、なんとダイエツト効果も、丸ごと食べて打倒!

肥ゆる秋。(井)

スポーツの秋。市役所職員もいろんな競技で活躍していました。ソフト部、バレー部、フットサル部が、それぞれの大会で見事優勝を果たし、気持ちのいい汗と美酒に酔いしれました。私が参加した大会では腰痛で満身創痍でしたが、ヒヤ汗をかきながらも楽しみました。(M)

芸術の秋。一攫千金!(N)

《広報へのメール》  
kouhou@city.kochi.konan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi.konan.lg.jp